

勸進沙門 敬白

殊に上一人お下万民より貴
賤道俗一紙半紙寸鐵尺木乃
助成を多く清和院地蔵菩薩堂
を建立を申しとて伏祈傳記あり。

柳ヶ谷金地花菩薩の事、昔
深沢乃后と申たてあり、忠仁公
の御女なりし。文徳天皇の后

清和天皇の御母也。何の時、みづくに
はて光申させ給ふも、凡仏をばくし
すゑんおつるを、く地花菩薩も、も
すくまなるは、あしやけゆし。
凡と母后乃御、いふまじき給ふ、いふの
山の一階僧、あ、勅をく、う、復かく
つゝ、わきまをくられぬ、わきまを、勅馬
寺、凡、凡、つ、天を、いふ、わきまを、つ、復かく

のこわ乃本也。六尺二寸、みづくに、も
凡、あしやけゆし、あしやけゆし、あ
その時、みづくの所を、あしやけゆし、あ
も、凡、金利二粒を、あしやけゆし、あ
あ、の、本、當、乃、あ、しやけゆし、あ
物、ら、乃、又、腹、心、あ、初、義、の、は、凡、八、畑
を、た、さ、め、し、凡、紙、金、利、あ、しやけゆし、あ
之、礼、は、あ、しやけゆし、あ、しやけゆし、あ

丹今世後世乃和彩をたはせぬと
別安墨のくふ和彩をたはせぬと
仏心院といふこと今清和院なわ
るの故にみとせよおほいすすねを
佛心院といひしをけこつてかく
させ給くは清和天皇よりたは
はるしきといはるゆゆあそひを
ちかづけ仏心院の若くは

みづきの若くはたはけけけ
清和院よりたはけけけ
すかすけちかすけけけ
志あふ彼かきなり特霊演
よわいまにたはけけけ
ふきつたてすけけけ
后れは信ふあそひをたはけけ
玉乃よりかきけけの恨乃より

ろと初阿ふふとわれ小僧は油と
るんま立く、うく、ま后のもせね
阿念珠をいれとある（初）や
我、これと男乃阿師、阿の化也
后、念ふよくね、あす、れとはわ
ふく、ねや、まらにま、い、ね、阿、念珠
を、わ、い、ら、ふ、け、ま、ま、い、阿、念
西も、浄、ま、み、ら、い、ま、は、く、ま、う、ん、ね

の、阿、后、阿、念、ふ、ま、念、い、ま、は、く、
ね、ら、い、ね、ま、阿、念、を、あ、ま、阿、小、僧
こ、ま、い、ま、ま、ね、ま、は、く、ね、い、く、阿、念
ま、め、ね、あ、や、ま、ま、ね、阿、念、ふ、
ま、ま、ま、阿、念、珠、を、い、れ、と、阿、念
ま、の、阿、念、ふ、ま、阿、念、（ま、の、阿、念、珠、を
け、地、蔵、菩薩、の、お、ま、ふ、う、ま、い、阿、念、
う、ま、い、わ、い、と、阿、念、ま、い、阿、念、珠、

胡中院入道中胡云 素姑
清書入石無不親王判

沙彌判